



じしゆく

いしゆく

自粛はしても萎縮はしないで明るく頑張りましょう！

新型コロナウイルス感染予防の中では、とすれば気持ちがふさぎ、何か新しいことを始めることに躊躇(ちゅうちょ)しがちです。もちろん、だからといって不自然に「元気に振る舞う」必要はないと思います。無理に外出しろと言ってるわけでも、もちろんありません。

しかし、この状況は必ず「出口」を迎えます。その時に、一歩でも早く、そして力強く動ける準備は、やはりしておくべきです。「出口」が見えたときのスタートダッシュをイメージすることは大切なことだと思います。

学校休業中、生まれた余裕の時間をどう使いましたか？初めのうちは、学校へ行かなくてよいという解放感にのんびりしていた児童も多かったのではないのでしょうか。

余裕のある時間は、「出口」へ向けての準備に使うべきです。読みたくて読めなかった本を読んで、自分を高めることも有効だったことと思います。今となっては、十分な余裕はないと思いますが、それでも何を優先して取り組むか、取り組ませるかが大切になります。

今、私たちは「知らず知らずのうちに恐怖に支配されて萎縮し、何もしないでよいと自分に言い訳していないか」を、自己診断すべきかもしれません。『何もしない』という『言い訳』は、「回復の遅さ」という「二次被害」を引き起こします。そして実はそちらのほうが大きいことも少なくないのです。

「二次被害」を引き起こすか起こさないかは、私たちの考え次第で回避できるはずなのです。できる準備はすべてやって、できることはむしろ進めて、来るべきそのタイミングにスタートダッシュし、この状況からの回復をいかに早めるかに集中したいものです。そして、その日が、一日でも早く訪れることを願わずにいられます。



6月も折り返しとなりました。行方市としても新型コロナウイルス感染拡大が収束する日は必ずやってきます。今ある危機を学校・家庭・地域が協力して乗り越えて行きましょう。

本校でも児童が主体となって取り組む機会となる学校行事(運動会・宿泊学習・遠足等)は、できるだけ状況に応じて対応し、実施できるようスタート準備をしています。本日、今後の主な学校行事について文書を配付いたします。その行事への準備や計画こそが「回復の遅さという二次被害」につながると思います。もちろん、感染拡大の第二波等、急な状況変化があった場合は、変更になることもあるかもしれません。そのことも御理解・御支持いただけると考えております。

『自粛はしても萎縮はしない』で、明るく頑張りましょう。いつも言っていますが、**人の気持ちの影響は非常に大きく、気分が乗って前向きな気持ちでいると活気や元気や勢いがある現象が起こるし、逆はあまりいいことは起こりません。**

危険を避けたり気をつけることは大切ですが、きちんと対策をし、あとは心配し過ぎずに楽しい気持ちで過ごした方がいいと思います。気持ちを萎縮させずに大きく深呼吸をして、「今日も楽しむぞ！」といつもより明るめで大きなあいさつを心がけて、楽しく大らかに伸び伸びと過ごしていきましょう！

児童が「笑顔あふれる授業」を目指します！

今年度の授業づくりのテーマは「児童一人一人が自分の思いや考えを表現できる力の育成」です。先週の分散登校、今週の時間差登校を含めても15日程度の授業の中ですが、児童は徐々に学校生活に慣れてきました。教師側も児童が自分で活動したり、製作したりする活動を、児童同士が確認したり、自分の考えと比べたりできるようにする活動へと少しずつ進んできています。例えば、右写真のように、「算数で代表児童が黒板に自分の考えを書いて説明し、それを真剣に聞く児童」の場面です。児童の真剣は表情が印象的です。

本校のテーマに向けての授業づくりはスタートしたばかりです。児童の笑顔があふれ、楽しみながら学べる授業を今後も進めてまいります。



※ 学校からのお願い・お知らせにつきましては、メール及び本校ホームページで御確認ください。